

件名:	史跡周防鑄銭司跡における新たな銭種「富寿神宝」の発見について
担当課:	教育委員会事務局 文化財保護課 埋蔵文化財担当 (電話:083-920-4111)

本市では鑄銭司地域に所在する平安時代の銭貨鑄造所跡である「史跡周防鑄銭司跡」において、平成29年度から山口大学と連携して発掘調査を行っています。

令和5年10月に第4次調査（平成30年度）で採取した土の水洗選別(注1)作業で新たな銭種「富寿神宝」を発見しました。

## 1. 新たな銭種「富寿神宝」について

①生産時期：平安時代

弘仁9年（818）～承和元年（834）

②法量：縦方向の直径：23.1mm、横方向の直径：23.0mm、  
厚さ：1.5mm、重量：1.7053g

③発見の経過

平成30年度 第4次調査において溝状遺構（図8参照）の土を採取し、土の水洗選別作業に着手

令和5年10月 水洗選別作業により「富寿神宝」を発見

令和5年10月16日・20日 実体顕微鏡による調査

令和6年11月～2月 X線CT撮影

令和6年2月 古代の銭貨生産及び貨幣史の専門家による調査

令和6年3月6日 史跡周防鑄銭司跡調査検討委員会で報告

## 2. 専門家による調査所見（令和6年2月）

周防鑄銭司で生産された富寿神宝の未使用の完成品である可能性が高い。

- ・ 輪側(注2)が平坦で角が立つとともに摩耗がないことから、研磨仕上げを行った完成品でかつ、未使用のものと考えられる。

- ・周防鑄銭司よりも前に操業していた長門鑄銭使(注3)で生産された富寿神宝が周防鑄銭司に持ち込まれたとは考えにくい。周防鑄銭司で鑄造した完成品が見つかったと考える方が自然である。

【調査メンバー（50音順）】

櫻木晋一氏（朝日大学教授、貨幣史）

高橋照彦氏（大阪大学教授、日本考古学）

永井久美男氏（兵庫埋蔵銭調査会、貨幣史）

松村恵司氏（前奈良文化財研究所所長、貨幣史）

### 3. 発見の意義

文献史料によると、周防鑄銭司では皇朝十二銭のうち「富寿神宝」から「乾元大宝」まで8種の銭貨を生産していたことがわかっています。これまでの発掘調査では「承和昌宝」、「長年大宝」、「饒益神宝」の3種の鑄損じ銭が出土しています。

文献史料からは富寿神宝が弘仁9年（818）から承和元年（834）までの間に生産されたこと、周防鑄銭司が天長2年（825）に設置されたことがわかっています。今回の発見で、史跡指定地のほぼ同一地点において、最長で天長2年（825）から貞観12年（870）までの45年間に銭貨生産が行われていたことを考古資料で明らかにすることができました。

### 4. 「富寿神宝」の特別公開

期間 5月28日（火）～9月1日（日）

場所 鑄銭司郷土館（鑄銭司11422番地）

開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）

観覧料 110円（18歳以下、70歳以上の方、障がいのある方及び同行の介助者は無料）

※周防鑄銭司跡出土品追加指定展（これまでに出土した鑄損じ銭3種10点）と同時開催。

## 5. 専門家のコメント

○松村 恵司 氏（前奈良文化財研究所所長、貨幣史）

今回の発見によって、調査地周辺に長門国から移転した周防鑄銭司の当初の銭貨生産施設が存在したことがほぼ明らかとなった。今後のさらなる調査・研究の深化に期待したい。

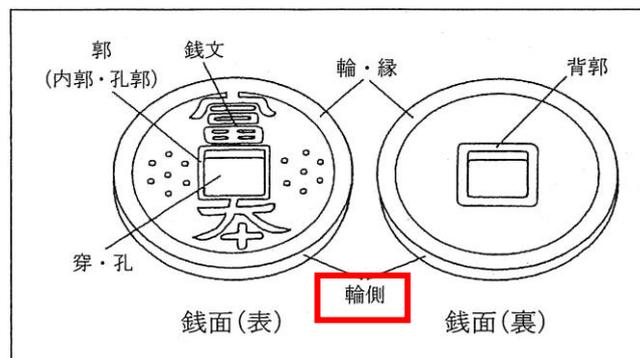
※専門家への取材を希望される場合、連絡先をお知らせしますので、会見終了後、文化財保護課職員にお声がけください。取材は本日16時までにお願いいたします。

(注1) 遺跡から採取した土を、水を入れたバケツ内でフルイにかけて、細かな遺物を取り上げる作業



水洗選別作業風景

(注2) 銭貨の外側にあるリング状の部分の側面（下図参照）



参考 銭貨の各部名称

（松村恵司 2017「古代の銭づくり—銭貨量産技術の復元—」  
『古代テクノポリス鑄銭司・陶—これまでとこれから—』より）

(注3) 弘仁9年（818）に長門国（現在の下関市）に設置された古代の銭貨鑄造機関。



図1 富寿神宝 表面 (拡大約 150%)



図2 富寿神宝 裏面 (拡大約 150%)



元興寺文化財研究所提供

図3 X線CT画像 表面(拡大約 150%)



元興寺文化財研究所提供

図4 X線CT画像 裏面(拡大約 150%)

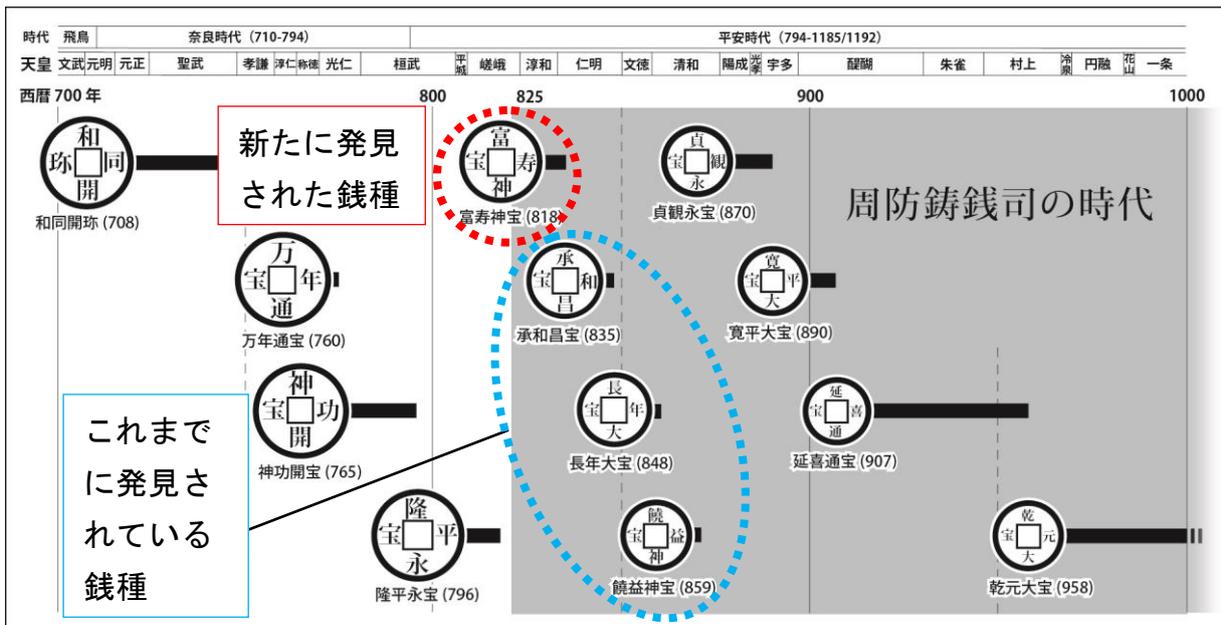


図5 皇朝十二銭の変遷 (山口大学作成図に加筆)



図6 史跡周防銭司跡位置図

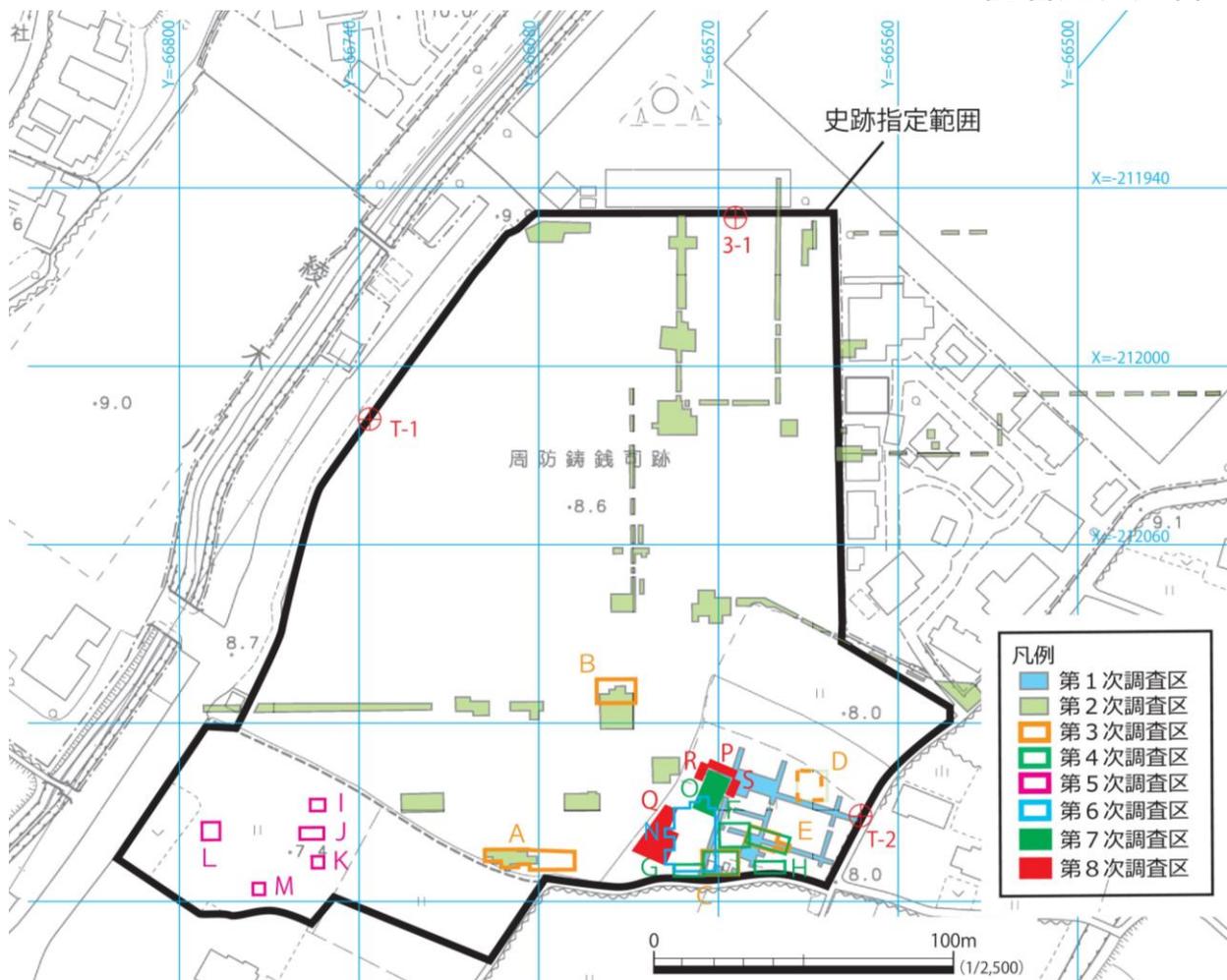


図7 史跡指定地及び発掘調査の範囲



図8 富寿神宝の出土位置

承和昌宝



長年大宝



令和5年12月に市の文化財に追加指定した  
古代の銭貨10点の展示を延長します。

# 周防鑄銭司跡出土品追加指定展

鑄銭司郷土館開館40周年・周防鑄銭司設置1200年プレ企画

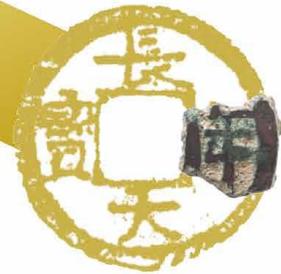
承和昌宝



饒益神宝



長年大宝



## 新たな銭種「富寿神宝」 特別公開

このたび新たに発見された銭種「富寿神宝」の特別公開を5月28日(火)から9月1日(日)まで行います。



令和6年(2024)

4/14(日)

会期延長

9/1(日)

拓影提供 永井久美男氏

鑄銭司郷土館

〒747-1221 山口市鑄銭司11422番地  
TEL・FAX / 083-986-2368

〈開館時間〉9:00～17:00(入場は16:30まで) 〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌平日)

〈観覧料〉110円 ※20名以上の団体の場合、団体割引あり ※18歳以下、70歳以上の方、障がいのある方及び同行の介助者は無料



※本資料の図1～8は提供可能です。ご希望の場合は終了後、文化財保護課に番号をお知らせください。